

東日本版

ご購入のお申し込みは
お近くの朝日新聞販売店
または下記支社へ

北海道支社 〒060-0001 札幌市中央区北1条西5-2-9 北一条三井ビル8F TEL.011-261-6771
東北支社 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-11-30 ホワイトキャッスル宮城野Ⅱ1F TEL.022-297-2117
関東支社 〒105-0012 東京都港区芝大門1-10-11 芝大門センタービル3F TEL.03-5777-2635

と比べて13件多い48件となつた。年々、減少傾向にあるものの、一部の心ないドライバーによって未だに根絶できていないのが現状。一人ひとりが「しない、させない、許さない」を徹底しながら、撲滅を呼び掛けていきたい。

神奈川トヨタ

「アート・トラック」を開発

美術作品運搬 移動先で作品展示可能に



移動先では車両ごとアートギャラリーになる

サイドのパネルをウイング状に開き、車

はコンテナ両

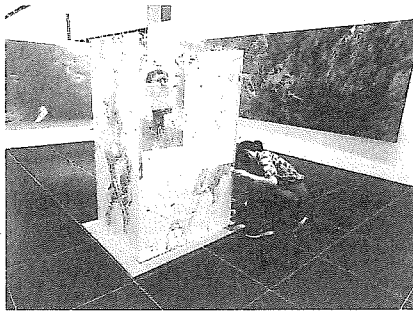
サイドのパネルをウイング状に開き、車

架装を設計・製作した。絵画や工芸品など形状の異なるさまざまな美術品を運搬し、移動先ではコンテナ両

同イベントで初披露したアート・トラックは、全ての人々が文化芸術に触れられる機会がトラックの架装を設計・製作した。絵画や工芸品など形状の異なるさまざまな美術品を運搬し、移動先ではコンテナ両

【横浜】神奈川トヨタ(市川英治社長)は、美術作品を運搬し移動先でアートギャラリーとして作品の展示を可能とする「アート・トラック」を製作した。レクサス相模原(鈴木暁ゼネラルマネージャー)で現代アートの展示会を開催し、同車両を披露したほか、若手作家の泉里歩さん実演によるライブペインティングを実施。店内はアートギャラリーさながらの優雅な雰囲気にも包まれた。

子どもたちに新しい楽しみ提供



自身の作品の前でライブペインティングを上演する泉さん

また、作品演出に欠かせない照明は、架装コンテナの上部に設置したソーラーパネルから電力を供給するなど地球環境にも配慮した。カルチュラリティの上友保代表は「アートを身近に届

両ごとギャラリーとして美術作品を展示できる。コンテナ内部には、運搬時に走行の揺れによって作品が傷まないよう固定するベルトや、作品によって展示スペースの奥行きを調整できる仕掛けを施した。

てもらうものだ。同支部では、ゲリラ豪雨などの大雨で冠水の恐れがある道路として、「冠水注意を呼び掛ける看板」「路面や側壁の水深表示」などがあるアンダーパスや地下道を挙げていた。冠水した道路を走行した場合、エンジンルーム内に水が浸入し自動車が行けなくなるトラブルも考えられ、普段から水深表示や冠水注意の看板、警告灯のある道路を記憶し、大雨の際の迂回路の使用や、台風などで降雨量が増えることが見込まれる際には冠水の恐れのある場所に近づかないようにアドバイスをしている。

けるにはモビリティの力が必要と考え、信頼できる自動車ディーラーにお願いした。アート・トラックで子どもたちに新しい楽しみを届けたい」と述べ、同車両への期待を示した。

同社はこれまでカルチュラリティの活動理念に共感し、同団体を支援している。今後は両者がそれぞれ支援を継続している児童養護施設の紹介なども含め連携し、相互に活動の幅を広げていく。

アクアライオンオフ式を閉幕に

車両紹介ではプロジェクト開発の玉木秀斗主任とアク

同社は地域社会貢献活動の一環として、2012年から

協力も増えている。

重畑志志総務課長、鎌田一範 贈呈式には同老人ホームの 花巻店販売課長も出席した。

護者の負担も大幅に軽減される」と喜んでいる。

オートオ
開催日

社

ホンダ
プ(仁科)

郡

【福島
クシヨ
るトヨタ
志社長
新型コロ
対策の支
寄付した
地域長の